

2017 冬 vol.7

ティーンズコーナー情報紙
年4回発行の季刊紙です。

冬の読書Info

冬のおすすめ

近隣5館
コラボ企画

西京図書館から

『和菓子のアン』

坂木 司 著
出版: 光文社

進路も決まらないまま高校を卒業した梅本杏子は、少しポッチャリした18歳。たまたま入ったデパートで見つけた和菓子店「みつ屋」でアルバイトを始める。個性的な店長や同僚との忙しい日々の中、お客様からちょっとした“ミステリー”が持ち込まれる。きっとあなたも、**暖かいコタツで大きな大福餅を食べたくなりますよ!**



右京中央図書館から

『12種類の氷』

エレン・ブライアン・オベッド 文
バーバラ・マクリントック 絵
福本 友美子 訳
出版: ほるぶ出版

ある日、薄い氷が見つかり、氷とともに冬が深まっていきます。大自然の中で、自由に滑るスケート。ブライアン一家を通して、**冬を楽しむ、心おどる体験を。**

『紙コップのオリオン』

市川 朔久子 著
出版: 講談社

創立記念行事の実行委員になった中学二年生の論理。提案した“冬の星座をキャンドルナイトで校庭に描く”という企画が決定! 星と星を繋いで **星座の形を見出すように、人と人との繋がりを**考えさせられる一冊です。

吉祥院図書館から



『雪は天からの手紙』

中谷 宇吉郎 著、池内 了 編
出版: 岩波書店

寒い冬に空からふわりふわりと舞い降りてくる雪。雪は空からの手紙という詩情あふれるタイトルに心を惹かれる。雪博士・中谷宇吉郎の **あたたかいまなざしをじっくりあじわいたい** 雪の結晶のような珠玉のエッセイ集。

洛西図書館から



『星の王子さま』

サン=テグジュペリ 作、内藤 濯 訳
出版: 岩波書店

ぼくは、砂漠で星の王子さまと出会い、大切なことを話します。そして、王子さまは、たった一輪の花との約束を果たすために、ふるさとの星に帰っていきました。冬の夜空を見ながら、**星の王子さまを探してみませんか?**

久世ふれあいセンター
図書館から

2017.12 発行
京都市右京中央図書館 <http://www2.kyotocitylib.jp>
〒616-8104 京都市右京区太秦下刑部町12番地
☎ 075 (871) 5336
休館日: 火曜日
開館時間: 平日...午前9時30分~午後8時30分
土日祝...午前9時30分~午後5時

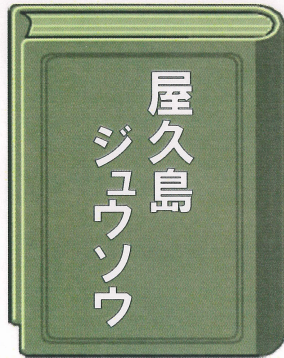
今回は、特別企画です。近隣5館の京都市図書館ティーンズ担当から、冬におすすめの本を紹介します。寒い日は暖かい部屋で、冬の読書を楽しもう!

ティーンズコーナー〈展示〉

12～3月のテーマ

Feel・Think・Write

＊感じる・考える・書く＊



屋久島
ジユウソウ

出版：森絵都著
集英社



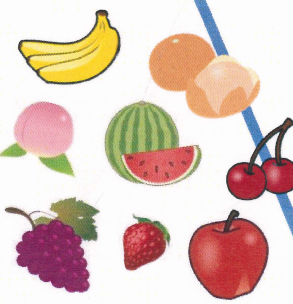
まるまる、
フルーツ

出版：青木玉ほか著
河出書房新社



何かちぐはぐで、
おかしさが漂う
屋久島登山記録
と海外旅行にま
つわるエッセイ。

フルーツについ
ての随筆集。
どれもこれも、
ああ食べたい！
と思わせる、
おいしい一冊。



その名は、 主人公

〈NEWあらいぶ! (新着)〉
などから、本の主人公を
紹介します。



宮仕え
2年目の
賢子

『紫式部の娘。
賢子とはまらない!』
篠綾子作，小倉マユコ絵
出版：静山社



CIA局員に
スカウトされた
ベン

『スパイスクール』
スチュアート・ギブス著，
橋本恵訳
出版：小学館



椅子デザイナー
を目指す
真

『一〇五度』
佐藤まどか著
出版：あすなろ書房

その他にも...etc.

- ・『本へのとびら』宮崎駿著(岩波書店)
- ・『バッドボーイ』ウォルター・ディーン・マイヤーズ作(小峰書店)
- ・「STANDARD BOOKS」シリーズ(平凡社)
- ・『グレゴリ青山のもっさい中学生』グレゴリ青山著(メディアファクトリー)
- ・『二十歳の原点ノート』高野悦子著(カンゼン)
- ・『きょうから日記を書いてみよう』1・2 向後千春著(汐文社)

今回の展示は、様々なジャンルから、随筆、エッセイ、日記、紀行文、記録など、人が感じたり、考えたりしたことを書いた本を集めました。笑えるものから真面目なものまで、退屈な毎日がちょっと変わって見えるかも。そして…、自ら書いてみるのはどうでしょう。(T)

書影は、「版元ドットコム」ほか、使用可能な画像です。